

## 電子入札を初めて利用される方へ

電子入札とは、ITを活用して効率的な公共事業の執行を目指す取組（CALS/EC）の一環として、国や地方公共団体等において取り組まれているもので、従来の紙による入札手続を、「インターネットを通じて、入札通知書の確認や入札書の提出、落札決定の確認等の入札手続を行う」ものです。

電子入札の導入により、「手続きの透明性確保や競争性の向上」を図ることが可能となり、また、入札に関する情報を速やかに公開することが可能となります。

さらに、入札手続にかかる移動時間や移動コスト等の縮減が可能となり、「入札に参加する方の利便性向上」を図ることも可能となります。

電子入札では、一般的に、次のシステムが使われています。

### (1) 電子入札システム

京丹波町では、入札に参加される方の利便性を確保するために、国土交通省や多くの自治体で採用されているシステム（電子入札コアシステム）を基本としつつ、短時間かつ安価に電子入札システムを導入するため、ASP（アプリケーション・サービス・プロバイダー）方式による電子入札システムを採用することとしました。

システムを利用するためには、京丹波町の入札参加資格者名簿に登録された内容に基づくICカード（電子証明書）が必要です。このICカードは、経常JVを除き、国土交通省や京都府などで使用されているものと共用することができます。

なお、京丹波町の電子入札システムでは、特定JVおよび経常JVは、JV代表者のICカードを使用していただきます。

### (2) 電子認証

電子入札では、本人確認を行い、なりすまみや盗聴、改ざんを防止するために、電子署名法等に基づいて認証局が発行するICカードを利用した、電子認証の仕組みが使われています。これにより、インターネットを通じても、安全に情報のやり取りを行うことも可能となります。